

2017年「アルミ業界重大ニュース」について

2017年12月27日

(一社)日本アルミニウム協会

項 目	コ メ ン ト
① 自動車向けのアルミ板材出荷量、月間で過去最高を記録	10月の自動車向けのアルミ板材は16,068 ^ト と月間として過去最高を記録。1－11月期の自動車向けのアルミ圧延品（板+押出）出荷量を見ても290千 ^ト と昨年同期比5.5%増加しており、自動車のアルミ化は着実に進展。
② アルミ企業の海外展開が一段と加速	(株)UACJはメキシコに自動車部品の販売会社を設立、(株)神戸製鋼所は韓国にノベリスとのアルミ合弁会社を設立、昭和電工(株)・昭和アルミニウム缶(株)はタイにアルミ缶の製造・販売会社を設立、不二サッシ(株)はベトナムに現地法人の販売会社を設立、YKKAP(株)はドイツに研究開発センターを開設するなど、アルミ企業の海外展開が一段と加速。
③ 年後半に発生した品質問題を受け、アルミ業界の品質保証ガイドラインを策定開始	年後半に製造業大手で品質問題が相次ぎ、アルミ業界でも複数の企業で発生。各社で原因究明、再発防止策、外部調査委員会による調査等信頼回復に向けた取り組みに注力する中、アルミ協会も品質保証管理に関する会員アンケートの意見集約、品質ワーキンググループの設置等業界団体として品質保証ガイドラインを策定中。
④ 日本初のアルミ合金橋「金慶橋」が土木学会の推奨土木遺産に認定	1961年に竣工された日本初のアルミ合金橋である「金慶橋」が、土木学会より2017年度の推奨土木遺産に認定。アルミの土木構造物が同遺産に認定されたのは初めてのことで、耐久性が高く、メンテナンスコストが最小限で済むアルミを使うことによりインフラの長寿命化を実現したことなどが評価された。
⑤ 里 達雄氏、平成29年度工業標準化表彰経済産業大臣表彰を受賞	里 達雄東京工業大学名誉教授（日本アルミニウム協会顧問）は、軽金属関連における国際規格及び国内規格の標準化体系の整備に尽力された功績により、平成29年度工業標準化表彰として経済産業大臣表彰を受賞。10月23日に授賞式が挙行された。
⑥ アルミ協会、「土木製品開発委員会」発足50周年	土木製品開発委員会は、アルミ製土木製品の需要拡大を目的として1967年に軽金属協会（当協会前身団体の一つ）に設置。種々の実験・研究等により得られた成果を標準化し、アルミ製土木製品の普及啓発活動をおこなっているが、今年、委員会発足50周年を迎えた。これを記念し、11月14日に記念講演会を開催した。

<p>⑦ 米国商務省、中国製アルミ箔に対しアンチダンピング関税の課税を仮決定</p>	<p>10月、米国商務省は中国製アルミ箔に対しアンチダンピング関税の課税を仮決定（税率は97～162%）。同省は8月にも中国製アルミ箔に対し相殺関税（税率は17～81%）の課税を仮決定している。この2つの課税により、中国製アルミ箔は市場から締め出されるものと予想される。</p>
<p>⑧ 中国・忠旺アルミ、米国・アレリスの買収交渉を中止</p>	<p>11月、中国のアルミメーカー・忠旺アルミは、米国の大手アルミ圧延メーカー・アレリスとの買収交渉を中止することで合意したと発表。忠旺アルミの買収が失敗したことにより、大手アルミ圧延メーカー・ノベリスやカイザーなどがアレリス買収に名乗りを上げている。</p>

以 上